

厚生労働省編一般職業適性検査

[進路指導・職業指導用](GATB)

15 種類の下位検査（うち 11 種類が紙筆検査＝筆記検査、4 種類が器具検査）から、多様な職業分野で仕事をする上で必要とされる代表的な **9 種の能力（適性能）** 特徴がわかります。

また、GATB では、さまざまな職業を、その職業を遂行するうえで求められる適性能の種類と水準（所要適性能基準）により、40 のグループ（適性職業群）に分けています（手引 121 ページ参照）。各被検者の適性能得点と、40 の適性職業群の所要適性能基準とを照合し、得意な能力（適性能）を生かすことのできる具体的な職業例を知ること、職業探索につながります。

適性能得点は、全国平均が「100」となるように換算しています。

紙筆検査で測定する 7 種の適性能

適性能	内 容	典型的な作業	関連のある職業の分野
G 知的能力 General Intelligence	一般的理解力、推理、判断力、応用力	状況を分析判断する。工夫をしたり、新しいアイデアを出す。	調査研究、企画開発、営業、教育・福祉、販売サービス等
V 言語能力 Verbal Aptitude	言語的な理解力、文章読解、表現力	文章を読み書きする。言葉で伝達したり、説明を理解する。	著述編集、報道、広告宣伝、営業、教育・福祉、法務、事務関係等
N 数理能力 Numerical Aptitude	数的な処理能力、計算力、数的推理力	各種計算、集計作業、数量管理・分析、金銭管理などを行う。	調査研究、工学技術、測定分析、情報処理、経理会計等
Q 書記的知覚 Clerical Perception	文字、記号などの比較弁別力、一般的な注意力	印刷物の校正、帳票の記載やチェック、表の作成等の作業を行う。	事務全般、運転監視、警備保安、看護、対個人サービス等
S 空間判断力 Spatial Aptitude	立体的、構造的な理解力、図面から実物をイメージする力	設計図を理解したり作成する。造形的な作業を行う。	工学技術、製図、情報処理、デザイン美術、建設工事、熟練技能等
P 形態知覚 Form Perception	形、図形などの比較弁別力	裁断、切断、切削、貼付け、取付け、接合、組立等の作業を行う。	製図、建設工事、デザイン技術、加工組立、造形、手工技能等
K 運動共応 Motor Coordination	目と手の共応、迅速で正確な動作を行うコントロール力	キーボードの操作、素早い繰り返し作業を行う。	OA機器オペレータ、簡易事務、機械操作、加工組立等

器具検査で測定する 2 種の適性能

適性能	内 容	典型的な作業	関連のある職業の分野
F 指先の器用さ Finger Dexterity	指先で細かい物を正確に扱う能力	精密作業、小さい物を指先で取り扱う作業を行う。	機械操作、手工技能等
M 手腕の器用さ Manual Dexterity	腕や手首を使って物を巧みに扱う能力	ハンドルやレバーを操作する作業、道具を巧みに扱う作業を行う。	機械・装置の運転操作、加工組立、造形、理容美容等